

## 2018 年度事業計画（中高）

<p><b>1. 基本方針</b></p> <p>聖書に基づくキリスト教精神の原点に立ち、常にこれを確認しながら教育活動にあたる。ひとり一人の生徒が、「みずみずしい感性をもつ」こと、「自己肯定感をもつ」こと、「他者とつながり、安心した環境をつくることのできる力をもつ」ことを目指す。</p> <p>この実現のための教育構想検討委員会の構想は、今後の本校の存亡がかかるものである。教職員一人一人がこれを意識し、毎日の授業や諸活動で目の前の生徒を通して本校教育の課題を知る。そして、それに対応するための環境整備・自己成長などの展望をもつ。そして、生徒が高校を卒業するときに、何が残るのか、何が残ってほしいのかを追及する。</p>			
<p><b>2. 具体的アクション</b></p>			
第2次中期計画（行動計画）	2018年度事業計画	目標達成のための手段等	具体的な目標（数値目標）
<p>(1) 教育理念の実践と内部 質保証の実質化</p> <p>ア キリスト教主義教育</p> <p>a. 礼拝を守る</p> <p>イ 新しい教育課程の構築</p> <p>a. 課題研究カリキュラム の実践</p> <p>b. 育成すべき資質・能力の 設定</p> <p>c. 一人一台 PC の導入・活 用</p> <p>d. グローバル教育の実践</p> <p>ウ 生徒支援の充実</p> <p>a. 集団に適応できない生 徒の支援</p> <p>b. 基本的生活習慣の確立</p> <p>エ 広報・入試対策</p> <p>a. 私学受験者の確保</p>	<p>・生徒が、聖書に一人で対峙する。</p> <p>・カリキュラムの構築</p> <p>・図書館にラーニングコモンズを設置</p> <p>・各教科・各部会で本校の課題を明らかにする。</p> <p>・利用イメージを作成する。ルールについて検討する。</p> <p>・PS（ピーススタディーズ）、選抜授業 GI、海外研修等の在り方の検討</p> <p>・学習ルームの在り方の見直しと教育相談体制作りをする。</p> <p>・挨拶、登下校のマナー、遅刻をしない等の基本マナーの向上。</p> <p>・SNS 使用に伴う危険性を理解させる。</p> <p>・「おさんぽ女学院」をはじめとして広報企画行事の充実</p> <p>・中学入試受験者数の確保</p>	<p>・礼拝の時間を「一人になる時間」となる環境をつくる。</p> <p>・課題研究教育検討委員会・教育構想検討委員会による検討</p> <p>・教科会、部会で新しい教育感を共有する時間を持つ</p> <p>・教育構想検討委員会と生徒支援部が連携し、検討する。</p> <p>・教育構想検討委員会と GEC（グローバル教育推進部）が連携して検討する。</p> <p>・教育相談体制の会議をする。</p> <p>・教師側の統一した指導。</p> <p>・事前準備を充実させる。</p> <p>・女子校、私学中高一貫校などの意義を伝え、受験者増につなげる</p> <p>・他校の問題を検討する。</p>	<p>・12月までに2019年度中1のカリキュラムを作成</p> <p>・3月末までに設置</p> <p>・教員が、評価を「学力」のみでするのでないという感覚を確実にもつ</p> <p>・2020年度4月からの導入を目指す。</p> <p>・2020年度からの改革を目指す。</p> <p>・支援の必要な生徒に関する情報共有の会議を年度当初以外にもつ。</p> <p>・遅刻指導回数の減少。</p> <p>・「おさんぽ女学院」児童来場者 600 以上。</p> <p>・昨年度受験者より増加すること。</p>

<p>b. 入試問題の適正化を図る</p> <p>オ 進路実績を伸ばす</p> <p>a. 難関大学の実績を伸ばす</p> <p>b. 大学共通テストへの対応</p> <p>c. 推薦入試等への対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、大きな変更はなし。各教科で新テストを意識する。</li> <li>・生徒の学力向上および学習習慣の定着化を目指す</li> <li>・難関大学の合格実績を出す。</li> <li>・教育構想検討委員会の新しい評価に対応した進路体制をつくる。</li> <li>・E ポートフォリオについて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任，教科担当が生徒をしっかり見る。</li> <li>・授業の充実，担任のていねいな指導。</li> <li>・教科，学年と連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサポートにおいて，学力・学習習慣とも向上する生徒が 60%以上になる。</li> <li>・東大京大 4 名以上。国公立医歯薬 8 名以上。</li> </ul>
---	---	---	---